

関市総合防災訓練

自分自身の命と家族を守るために

とき 10月28日(日) 午前9時～正午

ところ 市内全域 主会場 「瀬尻小学校グラウンド」

照会先 危機管理課

☎ 23-7736

大規模な災害が発生した初期段階では、消防隊や救急隊への出動要請が集中し、消火や救助などの活動が追いつかなくなる可能性があります。こうした状況では、自分の身と家族は自ら守る「自助」と、隣近所が助け合って地域を守る「互助」で、災害に対応しなければなりません。

関市でも、いつ大規模な災害が発生するかわかりません。防災訓練に参加し、いざという時に備えましょう。

避難訓練(市内全域)

地震が発生したとき、皆さんはどこに避難したらよいかご存じでしょうか？それぞれの自主防災会(自治会)では、最初に避難する集合場所を決めています。

訓練当日は、隣近所と声をかけ合って、一人でも多く集合場所に避難し、安全な道順を確認しましょう。

●訓練の流れ

- ①地震発生(午前9時)
 - ・大声で家族に声をかけ、倒れてきそうな家具から離れて、机の下に隠れるなど、まずは自分自身の命と家族を守りましょう。
- ②屋外へ避難
 - ・非常持出袋などを持って家族で避難しましょう。
- ③集合場所へ避難
 - ・隣近所に声をかけてみんなで避難しましょう。
 - ・集合場所に到着したら、自主防災会長に避難したことやけが人などの状況を伝えましょう。
- ④自主訓練開始
 - ・自主防災会を中心とした初期消火や応急手当などの各種訓練に参加しましょう。



●訓練想定

10月28日午前9時、南海トラフ巨大地震が発生し、関市役所にて震度6弱の揺れを観測。市内の広範囲において、家屋が倒壊し負傷者が発生、土砂崩れや液状化現象により各地域の道路が寸断。電気・ガス・水道などのライフラインが遮断した。





◆避難行動は基本的に徒歩でお願いします。
 ◆できるだけ集団で、避難所までの道路周辺を確認しながら避難してください。古い家や高いブ
 ロック、水路などの危険な箇所を家族や近所
 の人と話し合いながら、安全に避難しましょう。
 ◆「自主防災会」が決めている集合場所をあら
 じめ確認しておきましょう。

各種体験訓練(主会場)

瀬尻小学校では、各種展示・体験コーナー
 を設置するほか、次のような訓練を行います。

●市民参加訓練

- 倒壊家屋救出救護訓練
- 可搬ポンプによる放水訓練
- 消火器トレーナによる消火訓練
- ボランテニアセンター登録コーナー
- アルファ米炊き出し訓練
- 応急手当、CPR・AED取扱訓練
- 災害図上訓練(DIG訓練)

●体験・相談・見学コーナー

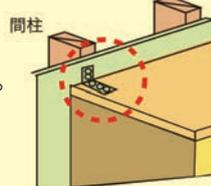
- 避難所設営訓練
- 防災備蓄倉庫の資機材展示コーナー
- 防災情報相談所(あんしんメール登録窓口)
- 煙道体験(煙道からの脱出)
- 住宅耐震診断の相談コーナー
- LPガスのマイコンメーター等展示コーナー
- 一般・携帯電話による災害用伝言板体験訓練
- 通信各社の災害時用携帯電話等の展示コーナー
- 災害対応車両展示コーナー など

家具などの固定

阪神・淡路大震災、新潟県中越地震などにおいて、負傷者の5割以上は、ガラスの飛散や家具類の転倒・落下によるといわれています。家具や家電製品の地震対策としては、次のようなものがあります。

- 固定器具を用いて家具や家電製品を固定する。
- 食器などの収納物が飛び出さないように、扉の開閉を防ぐ器具を取り付ける。
- 睡眠を取る場所や家の外に出るための避難経路の近くに、大きな家具や家電製品を置かない。
- 家具の中には、下に重いもの、上に軽いものを置く。
- 食器棚などのガラス面には飛散防止フィルムを貼る。

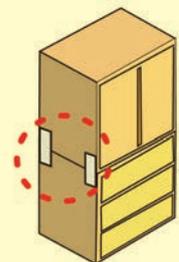
こうした訓練を契機として、地域で、家族で、職場で
 防災について話し合うこともとても大切なことです。
 手を取り合って安全で安心なまちを作りましょう。



L字金具で間柱に直接
 固定する



鴨居などから家具両側の側板部に、
 ベルトやチェーンでつる



積み重ね家具の場合は、
 プレート金具で上下を
 連結する

総合防災訓練の日は「関市家族防災会議の日」です。

防災訓練に参加した後、ご家庭で次のことを話し合ってみてください。

- ・地震などが起きたとき、家の中でどこが一番安全ですか？
- ・家具などの固定はしてありますか？
- ・避難場所、避難路は確認できましたか？
- ・避難するとき、だれが何を持ち出しますか？
- ・非常持出袋は、すぐに持ち出せますか？
- ・被災したとき、家族間の連絡方法や最終的に落ち合う場所は？